

第3次健康たきかわ21アクションプラン（第2回計画策定専門部会）における意見書集約一覧 【健康づくり課】		
	第1回専門部会意見	意見に対する回答
1	21アクションプラン（R6～17） 「滝川市の健康課題により独自性も重視した内容とする」詳しく説明願いたい。	当市の健康課題は、資料2のとおり、高血圧やメタボリックシンドロームの方が多く、喫煙、過度な飲酒量、重症化してから初めて受診するなどの傾向がうかがえ、予防可能な生活習慣病に起因する疾患による死亡率が高いことが挙げられます。そこで、健康課題に即した対策を、妊婦、子ども、子育て世代、働き盛り世代、高齢者、とライフステージに応じて展開することで、市民一人ひとりが自分のからだの状態を知り、自分の健康のためにできることを考えるきっかけになるよう進めたいと考えます。個別の支援では、個人の生活背景、習慣を踏まえ、その人らしい生活を尊重した健康づくり支援を行います。なお、当市の強みとして、健康に関わる各種専門職が配置され、課を超えて連携し合う土壤がありますので、それぞれの役割を活かし、保健活動を推進して参ります。
2	基本方針 医療・介護等様々な分野との連携強化 地域共生社会の構築、行政内横の連携あり方検討が必要ではないのか。特に職員不足のなかで非常に厳しいことは承知しているが、保健関係は喫緊の課題と思われる。	ご指摘の通り、地域共生社会の構築と行政内の横の連携については大変重要であると認識しております。昨今、保険医療課との担当者間打ち合わせ等により、医療や生活に対し見守りが必要な高齢者の情報共有や対象者宅への訪問、介護福祉課が実施するいきいき百歳体操会場における保健師の保健指導や、歯科衛生士による歯科相談、栄養士による栄養指導など、複合的な取組を取り入れてきております。さらに、地域共生社会の構築には、関係職員の認識・意識向上のための研修や地域の皆さまとの対話等により、理解をともにして進めることが肝要かと存じます。これからも創意工夫により、地域共生社会の構築を実践して参ります。

3	健診受診率が低い。 なぜ低いのか。（原因を詳細に分析されたい） 今までと異なった具体案を示されたい。医療機関あるいは市民課保険医療課との連携で、きめ細やかな対応で健診率の向上を行われたい。（個人情報等の課題が支障？）。財政改善に資するのではないか。	当市の健診受診率は、令和3年度36.5%で、国36.4%、北海道27.9%に比べて上回りましたが、国が掲げる受診率目標である60%には未だ及ばない状況です。がん検診については、人間ドック等自費で検査している方全体の実態把握が困難な実情はありますが、市が実施するがん検診（胃、肺、大腸、子宮、乳）の平均受診率は10.4%と低く、国平均15.5%、道平均12.5%に比べても低い状況です。健診未受診者への聞き取りなどによる未受診理由については、仕事が忙しく健診の時間がとれない、受診することが面倒くさい、健康だと自負している、健診を重要視していない、病気の発覚を恐れている、お金をかけたくない等があります。厚生労働省「平成24年労働者健康状況調査 結果の概要」の産業別の受診率によると受診率の低い業種は「宿泊業・飲食業」（48.3%）、「卸売業・小売業」と「生活関連サービス業・娯楽業」（同率74.4%）という結果であり、当市ではこれらの業種に従事する方々の割合が近隣自治体と比べ多いことも要因の一つと想定されます。（※農業・林業88.7%、鉱業・採石業・砂利採取業89.6%、製造業90.6%）また、特定健診受診率及び特定保健指導率が比較的高い自治体では、以前から健診結果を当該自治体の保健センターに来所の上手渡すなど、保健師が直接会って健診結果データを説明することによる動機づけ効果が考えられますが、当市では、郵送による送付のため、全員に結果の詳細な説明ができておらず、動機づけが弱いことも定期的な受診に繋がりにくい一因と考えられます。過去に手渡し方法を試みましたが、過去からの郵送による通知の経過があったため反発が強く、やむなく郵送に戻した経緯があります。しかし、毎年の健診連続受診者割合は低い傾向にあるため、健診リピート率を上げるよう動機づけのためのきめ細やかな対応を検討したいと考えます。受診率を上げる具体策については、これまで行ってきた勧奨通知の内容刷新は勿論のこと、各事業所への働きかけや、集団検診の実施日時・曜日の検討、医療機関での個別健診実施、特定健診とがん検診の同時実施などの未受診者対策を実施しております。なお、現在検討段階ではありますが、市内各医療機関へ、来院患者に対する健診受診を促すよう依頼したいと考えております。
---	---	--

4	滝川市総合計画（2023-2032）P18基本目標 2、 「健康で優しく安全に暮らせるまち」では目指す姿「多様な主体による支えあいにより、助けを必要とする人に必要な支援が行われている」としており、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という、関係を超えて地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会としており、このような方向性を協力を打ち出していきたい。《縦割り志向から水平志向へ》（第3次健康たきかわ21の重点対策「相談体制の強化と機関連携」の項）	ご指摘の通り、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人や資源が、世代や分野を超えて「丸ごと」水平につながっていくため、職員はもとより各種団体、事業所、そして市民ひとり一人の皆様にどのようにお伝えすべきなのか、また、どのような手段が有効なのか、さらなるご理解をいただけるよう、取組を持続していかなければならないと考えております。
5	体系図 地域「支えあう地域社会づくり」を「支えあう地域共生社会」としては如何か。	検討させていただいた結果、取り入れさせていただきます。
6	体系図 市民「一人ひとりの健康意識の向上によるリスク低減」の項 広報紙の活用では市立病院の医師たちが交代で健康に関する情報を発信しており効果が期待できる。もっと充実・露出させるべきであり、市民に健康について関心を寄せてもらうべきである。	同様に感じており、また、医師はもとより、可能であればその他の専門職（ソーシャルワーカー、作業・理学療法士、精神保健福祉士等）に対しても情報を発信していただけるよう、要請していきたいと考えております。また、第3次健康たきかわ21アクションプランについても広報の特集記事やホームページ、FMG'skyを活用し、発信して参ります。

7	健康たきかわ21の重点事項 運動・身体対策＝第2次の重点対策でもふれてい る（P45）健康維持対策として「百歳体操」など を第3次では積極的に推進されたい。さらには他 の方法も検討されたい。	いきいき百歳体操は、地域で定期的に集うことが社会的交流となり、支え合いや心理面への好影響な ど生きがいと心豊かな生活にもつながることから、第3次計画においても高齢者の身体活動対策の要の 事業と位置づけ、介護福祉課と連携し、サポーターの育成と講座の充実を図るなど、積極的に推進して 参ります。 さらには、介護予防講座の開催や、保健センターまで来所が可能な方にはヘルシーエクササイズの積 極的な勧奨などを進めて参ります。
8	資料3 市民・行政・地域の役割 地域の項「支え合う地域社会づくり」を「支え合 う地域共生社会づくり」としては如何か。	検討させていただいた結果、取り入れさせていただきます。
9	次期計画の重点的な取り組み 広報周知対策≪前期対策として≫ 健康につき繰り返し（すりこみ）周知する必要 があるのではないか。 *関係部署の連絡先及びその役割を箇条書きで案 内パンフを作成し、冷蔵庫や電話の近くに張って おく。（今までも配付していたようであるが、繰 り返し実施することが大事では）	配付資料や、案内パンフ、特に全戸配布できる物に関してはご指摘の通り、関係所属の連絡先等も掲 載したいと思います。

10	第3次健康たしかわ21アクションプランとても参考になります。もっと早く健康寿命を考えて生活したらよかったと思うことが多い。市の取組はとても素晴らしい。いろいろな課題を少しずつ思い、行動に移せる自分になりたい。 健康寿命は今の自分にとって残る人生のこれからの予防を少しでもして、元気でいれる事です。今の私は運動、食事、少しでも人との対話を持ち、自分から進んで物事を探し、忙しい日々を送る事にしています。 自分の今の生活がアクションプランのかけらに入っているかなと思いながら資料を読んでいます。私事で申し訳ないですが、すごく参考になりました。何度も読み思う事の多い資料でした。市で取り組んでいる事が市民に届かないのは残念です。広報紙を使い、少しでも分かる様に希望します。	取組を評価いただき、ありがとうございます。 第3次アクションプランに基づく活動も一層励んで参ります。市民の皆様に届くよう周知、啓発を工夫し、強化して参ります。
11	第3次健康たしかわ21アクションプランの基本方針や重点対策の方向性は理解しました。 滝川市の健康課題を克服し、健康寿命を延ばす対策は、市民が取り組みやすい施策を提案することが結果につながると考えます。	健康づくりは市民の皆様が主役ですので、保健予防活動のわかりやすい周知と、自分の健康状態を知り、何に取り組んだらよいかがわかるための丁寧な保健指導、個別性を考慮した取組の提案など、ご指摘のとおり市民の皆様が取り組みやすい施策を検討してまいりたいと考えます。

12	どこの市町村もそうですが、特定健診・がん検診の受診率がなかなか上がらない状況にあると思います。受診率の向上に向け、医療機関受診の際に担当医から検診の勧奨を行っていただいたり、市や自治会、関係団体などが開催するイベントなども積極的に活用するなど、健康意識の向上に多角的に取り組む必要があるのかなと思います。	当市の特定健診、がん検診は集団検診の他に、市内医療機関に委託して個別検診を実施しており、受診率向上のためには医療機関との連携が効果的と考えますことから、ご指摘の通り、市内各医療機関へ来院患者に対する健診受診を促すようご協力をお願いしたいと考えております。また、自治会や関係団体の集まりやイベントなども活用し、周知啓発に取り組んでまいりたいと考えます。
13	これから増える”高齢期”に関する部分を厚くしてほしい。	高齢期の方に対しても生活習慣病重症化予防を重点に、特定健診及び後期高齢者健診の勧奨と健診後の保健指導、医療機関受診歴や健診受診歴のない方への訪問等を推進して参ります。また、低栄養・フレイル予防と健康増進のため、食、歯と口腔の健康、運動・身体活動においても各種事業を実施してまいります。特に介護福祉課と連携し、いきいき百歳体操等通いの場を活用した健康教育や健康相談を積極的に推進してまいります。